

信楽高原鐵道の経営再生にかかる進捗状況等について

1 鉄道事業再構築実施計画について

OH25.3.4 国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定

【鉄道事業再構築実施計画】

申請者	甲賀市、信楽高原鐵道、滋賀県
計画内容	① 事業構造の転換(甲賀市:鉄道施設を保有し施設維持管理費用を負担、信楽高原鐵道:列車を運行)【上下分離方式】 ② 地域による利用促進策の実施
実施期間	平成25年度から平成34年度までの10年間
実施効果	① 信楽高原鐵道における鉄道施設等の維持管理費用の負担軽減 ② 地域と連携した積極的な増収施策等の展開による、収支均衡と安全で安定した運行の維持

OH25.4.1 公有民営方式の上下分離による運行開始

2 旅客輸送実績

() 内は1日当たり換算

	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比
通学定期	263,940 人 (723 人)	248,820 人 (681 人)	△15,120 人 (△42 人)
通勤定期	57,900 人 (158 人)	52,500 人 (143 人)	△ 5,400 人 (△15 人)
定期外	116,547 人 (319 人)	123,277 人 (337 人)	6,730 人 (18 人)
合 計	438,387 人 (1,201 人)	424,597 人 (1,163 人)	△13,790 人 (△ 38 人)

※ 少子化による学生利用の減等により、定期利用者数が減少

※ 平成 29 年度は「陶芸の森」と連携した「えんとつ町のプペル展」協賛ラッピング列車の運行、観光事業者との連携や企画切符等の販売増により定期外利用者数が増加

3 経営状況

(千円)

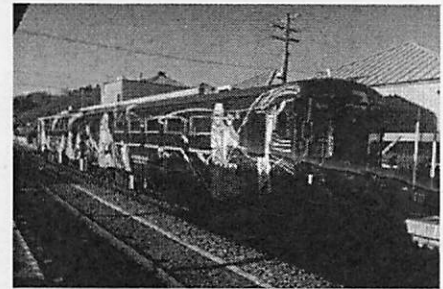
	平成 28 年度	平成 29 年度	前年度比
経常収入	160,635	161,106	471
うち旅客収入	91,124	86,565	△ 4,559
経常費用	153,417	155,748	2,331
経常利益	7,218	5,358	△ 1,860

※ 上下分離方式への移行後、5年連続で経常黒字を達成

4 平成29年度の主な取組について

○安全な輸送サービスの提供

- | | |
|----------|---|
| 【甲賀市】 | <ul style="list-style-type: none">・ 新型車両の運行
(H29.2.5 営業運転開始)・ 従来型車両の SHINOBI-TRAIN のラッピング
(H29.2.25 営業運転開始)・ 枕木交換、橋りょう塗装、信楽駅ホーム改良工事 |
| 【信楽高原鐵道】 | <ul style="list-style-type: none">・ 旅客輸送業務・ 鐵道施設等の保守・維持管理 |



信楽高原鐵道 SHINOBI-TRAIN

○経営改善・合理化の推進

- | | |
|----------|----------|
| 【信楽高原鐵道】 | 営業費の経費節減 |
|----------|----------|

○鐵道の利用促進

- | | |
|----------|--|
| 【信楽高原鐵道】 | 地元観光イベント、旅行会社と連携した営業活動
ふれあいハイキング（JR西日本と連携）
「陶製干支切符」の販売、田んぼアートの実施
「えんとつ町のプペル展 in 滋賀」と連携したラッピング列車の運行
七夕の時期に「くもい竹宵の夕べ」のイベント実施 |
|----------|--|



【プペルラッピング車両】



【うしかい田んぼアート】

5 平成30年度の主な取組について

- | | |
|----------|---|
| 【甲賀市】 | 枕木交換、橋梁塗装、勅旨駅ホーム塗装 |
| 【信楽高原鐵道】 | 旅客輸送業務、鐵道施設等の保守・維持
鐵道の利用促進 <ul style="list-style-type: none">・ SHINOBI-TRAIN の運行・ 観光客向けのノベルティやグッズ開発・ 旅行会社、バス会社への営業活動・ 牛飼地区での「田んぼアート」事業による沿線景観の創出・ 駅前陶器市と連携した観光誘客 |